

台湾で報告された予防接種後の死亡数は、国のCOVID死亡総数を超えています



BLUEAPPLES

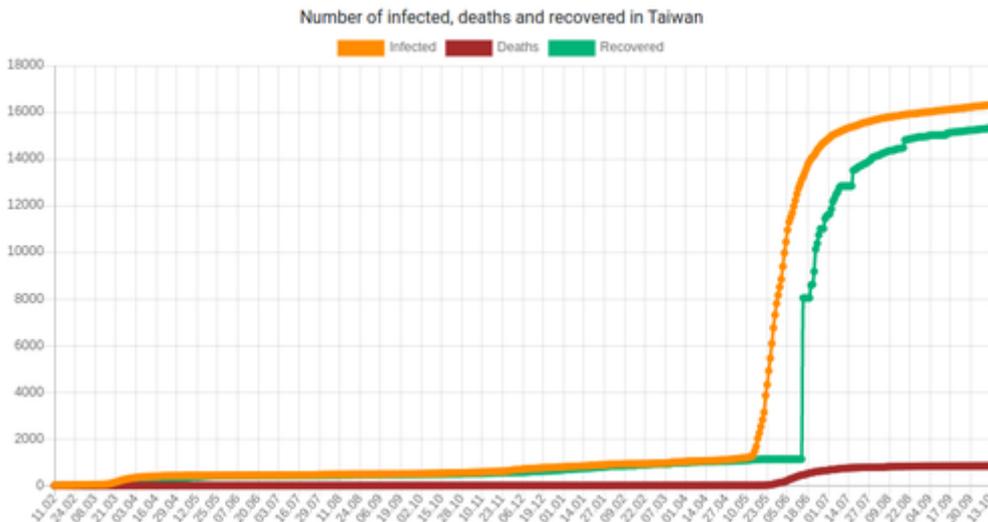
2021年10月14日木曜日 8 : 21

COVID-19パンデミックの発生以来、台湾ほど病気の管理について称賛されている国はほとんどありません。2020年2月に国内で最初のCOVID-19の症例が報告されて以来、16,313件の感染と846件の死亡のみが記録されています。国が発生をうまく管理したにもかかわらず、それでも世界保健機関主導のCOVAX交換プログラムに登録し、2021年3月22日にワクチン接種の最初の波を開始しました。COVID-19は、最初のワクチンが投与されるまでに、ワクチン接種プログラムの開始以降、COVID-19に起因する846人の死亡のうち836人が発生しています。台湾で投与されたワクチンの安全性と有効性に関するさらに疑わしい展示で、■中央流行疫情指揮中心（「CECC」）は、ワクチン接種後の有害事象として850人の死亡が報告されていると述べています。その合計は、ウイルス自体に起因する死亡者数を上回っています。

台湾の予防接種キャンペーンは他の多くの国よりもはるかに遅れて始まりました。これは、島国が[注文を調達するのが難しいこと](#)によって最もよく示されている、中国からの政治的干渉を多くの人が非難する遅れです。ファイザー-BioNTechのmRNAワクチンの。これらのハードルにもかかわらず、国は最初に117,000回分のアストラゼネカのワクチンを調達することができました。同じメーカーからの200,000および400,000用量の追加の配達、2021年5月にModernaからの別の150,000ワクチンが配達される前に、次の2か月に到着しました。ジョンソン&ジョンソンはすぐに続きます。10月11日の時点で、人口の約19%に相当する448万人の台湾人が完全にワクチン接種を受けており、人口の約59%に相当する1370万人がワクチン接種を受けています。国は、人口の70%に完全なワクチン接種を行うことを目指していると述べています。

Vaccine	Manufacturer	Origin	Progress	EUA Approval	Deployment
Oxford–AstraZeneca Covishield and Vaxzevria	Oxford University and AstraZeneca	United Kingdom, Sweden	phase III clinical trials ^[62]	✓ 18 March 2021 ^[5]	✓ 22 March 2021 ^[6]
Moderna Spikevax	Moderna	United States	phase III clinical trials	✓ 5 May 2021 ^[8]	✓ 9 June 2021 ^[63]
MVC-COV1901	Medigen Vaccine Biologics Corporation	Taiwan	phase II clinical trials ^[64]	✓ 19 July 2021 ^[65]	✓ 23 August 2021
BioNTech-Pfizer Comirnaty	BioNTech with Pfizer	United States, Germany	phase III clinical trials	✓ 3 August 2021 ^{[66][67]}	✓ 22 September 2021
Janssen	Janssen Vaccines	United States, Netherlands	phase III clinical trials	✓ 10 June 2021 ^[66]	Pending
UB-612 Vaxxinity (formerly COVAXX), and DASA	United Biomedical, Inc. Asia [zh]	Taiwan	phase II clinical trials ^[68]	Pending	Pending
Novavax Covovax	Novavax	United States	phase III clinical trials	Pending	Pending

しかし、台湾がこれら5つのワクチンの緊急使用を承認するまでに、憂慮すべき傾向が現れ始めました。最初のワクチンが導入される前に台湾で観察されたCOVID-19の新規症例の7日間の最高平均はわずか3でした。2021年5月28日までに、その7日間の平均は597に爆発しました。ワクチン接種の取り組みが世界的に進んでいるにもかかわらず、症例数は増加していますが、これらの国のほとんどは、ワクチンが利用可能になる前に、新しい症例と死亡数で過去最高を記録していました。その規則の1つの例外はイスラエルで見られ、デルタバリアントの影響の懸念を受けてファイザー-バイオエヌテックワクチンの3回目の接種を行う国のキャンペーンの開始後に最高の1日症例数の記録が記録されましたワクチンの有効性の。まだ、イスラエルは以前の1日の最高値を上回っていましたが、それを超えた量は台湾と比較して薄れていました。台湾の7日間の平均は、2021年9月まで、再び10件の新規症例に該当することはありません。それ以来、ワクチン接種の増加にもかかわらず、その全国平均はワクチン接種前のレベルに達することができませんでした。台湾が市民への予防接種を開始して以来、最低の7日間の平均は、2021年9月5日の5日に記録されました。



月以来のウイルス伝播の増加の可能性が高いデルタバリアントのような変異に起因することになるが、それはまたのような科学者や医師によってについてあらかじめご了承されたワクチンの抗体依存性増強の発症を示すことができたロバート・マローン、の1 mRNA技術の開発の背後にある科学者。台湾で使用されているすべてのワクチンがmRNAテクノロジーを利用しているわけではありませんが、アストラゼネカのようなウイルスベクターベースのワクチンは、ワクチン接種を受けた患者の免疫系をSARS-CoV-2のスパイクタンパク質にさらすことにより、抗体の促進を予測しています。ウイルス

粒子の遺伝子配列全体とは対照的に、スパイクタンパク質の遺伝子断片のみに基づく抗体は、感染を防ぐ能力が低いと思われます。のような科学者元ファイザーの[マイケル・イードン博士](#)は、これらの不十分な抗体は、エピトープと呼ばれるウイルス粒子上の対応するタンパク質構造に必要なタンパク質構造またはパラトープを持たないため、実際にウイルス侵入を促進することを証明しています。この現象は、中東呼吸器症候群を引き起こしたコロナウイルスと戦うことを目的としたmRNAワクチンの臨床試験で観察されました。そのリスクに対する警告のその理論の支持者は、COVID-19ワクチンの潜在的な欠陥のこの同じ結果が急いで規制プロセスによって見落とされているという懸念を表明しました。

ワクチン接種後に台湾のCECCに報告された850人の死亡に関する限り、643人はアストラゼネカの投与を受けた患者に起因し、183人はモダニナの投与を受け、22人は台湾独自のMedigenワクチンを受けました。ワクチン接種後の有害事象として記録されているにもかかわらず、多くの台湾当局者は、これらの死亡は本質的にワクチンによるものではない可能性があるとして述べて、CECCの報告に応じています。CECCは以前、Modernaワクチンの反応が[致命的な有害事象](#)を引き起こしたという立場を確認しました。。COVID-19による死亡の7日間の平均は、過去数週間と同様に0から1の間で推移しているため、ワクチン接種後に台湾のCECCに報告された死亡は、しばらくの間、ウイルス感染に起因する死亡を上回り続ける可能性があります。。

👁 23,699 🗨 0

差別に関するお知らせ
プライバシーポリシー
免責事項
ZEROHEDGEで宣伝する

著作権©2009- 2021 ZEROHEDGE.COM/ABCメディア、LTD